

理学部

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【教育理念】

現代では社会の様々な分野で自然科学の知識と視野を持つ人材が必要とされています。この社会からのニーズに応じ、理学部では、数学を含む自然科学の各分野の基礎と専門的知識の教育を行い、さらに研究活動への参加を通じて、科学的な思考力、自ら考え、自ら問題に取り組む能力を修得させます。理学部は、自然科学の素養と知識を生かしながら、現代社会の各分野で諸課題にリーダーシップを持って主体的に貢献できる女子を育成することを目標としています。

【求める学生像】

上記の教育理念にもとづき、理学部は次のような資質および意欲をもつ学生を求めます。

- (1) 自然科学の各分野における種々の事象に興味を持ち、学修と探究に意欲を持つ人
- (2) 高等学校等の各科目の基礎学力を持ち、論理的・科学的思考の基盤になる数学と理科を理解している人
- (3) 自然科学の素養を生かしながら、社会の各分野で積極的に貢献しようとする意欲を持つ人

【入学者選抜の基本方針】

「求める学生像」にふさわしい入学者を選抜するため、一般選抜前期日程、一般選抜後期日程、学校推薦型選抜、総合型選抜 探究力入試「Q」、私費外国人留学生入試、高大接続カリキュラム開発プログラムに基づく特別入試、第3年次編入学入試を行います。

一般選抜前期日程、一般選抜後期日程では、高等学校における学習の基本的達成度を評価する大学入学共通テスト、基礎的学力と論理的思考力を問う個別学力検査、および調査書の内容を総合して合否を判定します。

学校推薦型選抜では、書類審査および大学入学共通テストの成績を総合して合否を判定します。

総合型選抜 探究力入試「Q」では、基礎学力、思考力、表現力、探究力を総合的に判断するために、第1次選考（書類選考）と第2次選考（各コースの方法）を行い、合否を判定します。

私費外国人留学生入試では、留学生に必要な基礎学力を評価する日本留学試験の成績、独自に行う学力検査および面接（化学生物環境学科生物科学コースおよび環境科学コースでは面接のみ）の成績、日本留学試験の成績、TOEIC 又は TOEFL の成績を総合して合否を判定します。

高大接続カリキュラム開発プログラムに基づく特別入試では奈良女子大学附属中等教育学校を含む対象校※※において、高大接続文理統合探究コースを受講し修得見込みの者を対象に、選抜単位ごとに、探究活動の発表、探究活動に関する論文、調査書、志望理由書、高大接続文理統合探究コースの履修状況等をもとに、適性等を総合的に評価します。

第3年次編入学入試の一般選抜では学力検査（筆記試験および口述試験）の成績、成績証明書を総合して合否を判定します。化学生物環境学科化学コースでは編入学入試の推薦選抜を行い、面接と出願書類を総合して合否を判定します。

※※対象校については本学ホームページ「学部入試（学生募集等）」に別掲